

目 次

一表紙絵～ふくしまの山野草シリーズ～

提 言 平安博物館長・角田文衛 6

特集

1 教育の充実

2 勉強体験学習の推進

3 初任者研修試行の概要

20

隨 想	23
告 知 板	34
フォト行事から	39
研究実践	40
教育センターから	42
生涯教育インフォメーション	44
レポート～学校から	46
教育ひとくちメモ	47
図書館コーナー	48
美術館だより	49
ふるさと探訪	50
羅針盤	51

◎各地の行事から [6月]

■野沢山の神のまつり (6月1日～30日 西会津町・大山祇神社) 野沢の山中にある社で、豊作と大漁・海上安全を祈願して一か月の間、県内外の信者でぎわう。

■関辺のさんじもさ踊 (6月予定 白河市・八幡神社) 豊作祈願と虫送りのため青年たちによって演じられる念仏踊。県指定文化財。 ■栗生沢の三つ獅子 (6月13日 田島町・大山祇神社) 県内で最も古風な姿を残した三匹獅子舞。県指定文化財。



文化財「関辺のさんじもさ踊」白河市

本年度の「教育福島」の表紙に、私どもの会から野草の写真を提供させて頂くことになりました。本県内に自生する野草、本県にゆかりのあるものを紹介して参りたいと考えております。
本会は、県職員で植物に関心をもち、勉強したいという者が集まり、昭和四十七年四月に、故渡辺政三先生を中心にして発足しました。約百六十名の会員には、その道の専門家から、高山植物の名前を二つだけ知っている者までが含まれ、高山植物を見るための登山、植物ゼミナールなどの勉強会を年に六～七回行なは、五月中旬には県西庁舎二階で野草の展示会なども行っています。
何分、仕事のかたわらの作業ですので、撮影条件が不十分なために、野草の本当の姿を写し撮つていなないものもありますが、素人に免じてお許し願いたいと存じます。

福島県立自然植物研究会
会長 氏家 賢一

表紙写真によせて